

出生前検査の遺伝カウンセリングってどんなもの???

妊娠の初期の頃は、赤ちゃんを授かって嬉しい気持ちと、これからの妊娠・出産、そして赤ちゃんの将来についての様々な心配事や不安がないまぜになって、気持ちが揺れることは珍しくありません。赤ちゃんが元気に育ってくれるか、生まれて来る赤ちゃんが健康かどうか…心配になりますね。そんな中で、出生前検査は一つの安心材料をもたらしてくれるかもしれません。お腹の赤ちゃんに危険を与えることなく、お母さんの血液から赤ちゃんに特定の染色体異常があるかどうかについて知ることができる検査もあります。こうした検査で「異常がない」という結果が得られれば、安心した気持ちになれるかもしれませんね。

では、検査ではどんなことがわかるのでしょうか？そしてわからないことはどんなことでしょうか？検査の結果によってはどんなことが変わっていくのでしょうか？

出生前検査は赤ちゃんの将来に関わる大きな意味を持つ検査です。いくつかの検査法がありますが、お母さんの体調や週数によっては適しているものと適していない検査があります。

受けた方がいいの？受けない方がいいの？…人によって、カップルによって、考え方は様々です。「受けて異常が出なければ安心できるんだから、とりあえず検査を受けて、心配な結果が出たらその時に考えればいい。」と考える方もいらっしゃるかもしれません。

でもわたし達の経験では、検査の詳しい説明を受けずに検査を選択し、期待と違う検査結果を受け取った方は、事前に医療者やパートナーとよく話し合っただけの方が比べると大きく混乱されているように感じます。

遺伝カウンセリングでは、検査の内容をご説明するだけでなく、課題を整理して、赤ちゃんの親となるあなたがどうしていきたいのかを選んでいくお手伝いをします。決して「〇〇する方がいい」「〇〇しない方がいい」というアドバイスや指示をする場ではありません。

聖路加国際病院でのご出産を希望されて女性総合診療部での健診・分娩予約をされた方は、初診前であっても遺伝カウンセリングを受けられます。

出生前検査について知りたい方、検査を検討している方、検査を受けようと考えている方は、予約をお取りください。

遺伝カウンセリングをご希望の方は、以下にお電話ください。

03-5550-2412

受付時間：月～金曜日 9:00～16:30